

イスラエルのガザ攻撃は何をもたらしたか？ 解決の道はどこに？

パレスチナ・ガザ 現地取材報告会

● ガザ現地取材報告

ジャーナリスト 土井敏邦さん

今回のイスラエルのガザ攻撃でも1月8日から現地取材。停戦後はガザに入り惨状を直接取材。2月21日に帰国。ドキュメンタリー映像シリーズ『パレスチナ・届かぬ声』（仮題・4部作）がこの3月に完成する。当日も映像でレポート。



● パレスチナ問題の背景と解決の道

栗田禎子さん（千葉大学教授、中東問題研究者）

中央・北アフリカ近現代史が専門。ハルツーム大学アフリカ・アジア研究所客員研究員などを経て現職。著書に『対テロ戦争』とイスラム世界』（共著、岩波新書）など。参議院のイラク特措法公聴会で反対の意見陳述。

千数百人を超す死者を出し、四千人を超す負傷者を出したイスラエルのガザ攻撃。いまもガザでは殺りくが続き、いつ戦闘が再開してもおかしくない状況です。これがなぜ起こっているのか？ ガザはいまどういう状況なのか？ どうすれば解

決できるのか？ 日本国民としてやるべきことは？——フォトジャーナリスト土井敏邦さんの現地取材報告会を、中東問題研究者の栗田禎子さんを交え、行いたいと思います。ぜひ、ご参加ください！

とき:3月9日(月)午後6時30分～

会場:港区勤労福祉会館・第1洋室



JR田町駅、都営三田線三田駅下車、森永口徒歩5分
電話 03-3455-6381

資料代:500円

主催:日本平和委員会

東京都港区芝1-4-9 平和会館4階
電話 03-3451-6377 FAX03-3451-6277